



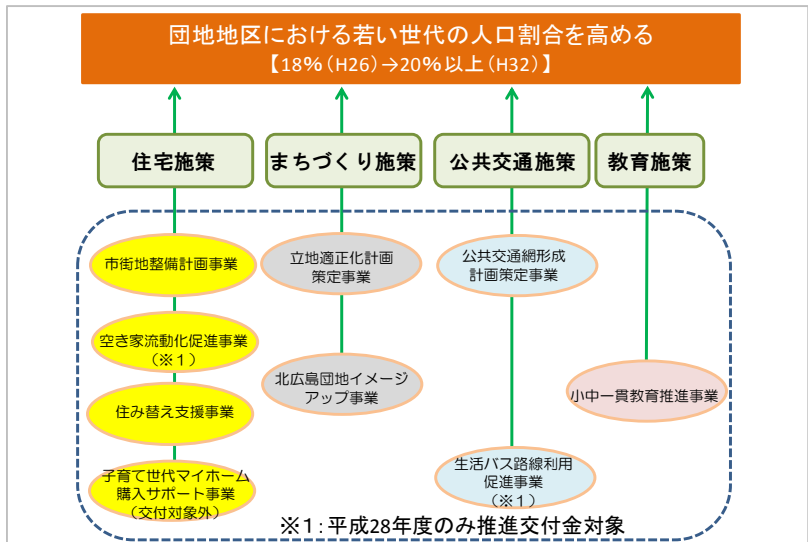
北広島団地フェニックスプロジェクト



北広島団地地区：昭和45年 開発 戸建住宅が中心の団地
計画人口31,000人、計画戸数8,000戸

- 【現状】**
- ・団地整備から40年余りが経過し、人口減少と少子高齢化が進行
- 【課題】**
- ・市内で最も高齢化率が高く(45.2% 2018.10現在)、空き地・空き家も増加
 - ・路線バス利用者減少に伴い、生活バス路線の維持確保が困難

- 【目指す方向】**
- ・**高齢者のまちから多世代が暮らすまちへ**
 - ・**教育環境を充実し、子どもの笑顔が輝くまちへ**
 - ・**公共交通を軸に、都市機能を身近に感じ、暮らしにやさしいまちへ**
- ↓
- 4施策9事業の実施により団地の再生に取り組む**



- 【各事業の概要】**
- 「住宅」
 - ①市街地整備計画事業：北広島団地の二世帯住宅等の建設を促進するため、建ぺい・容積率及び最低敷地制限の見直しを検討
 - ②空き家流動化促進事業：空き家の解体・リフォーム支援により、空き家の流動化を促進
 - ③住み替え支援事業：子育て世代に広い住生活空間を提供するとともに、高齢者の生活に適した住宅への住み替えを促進
 - ④子育て世代マイホーム購入サポート事業：子育て世帯の移住・定住を促進するため、住宅を取得するための費用を助成
 - 「まちづくり」
 - ⑤立地適正化計画策定事業：持続可能なコンパクトシティの形成を図るため、その指針となる立地適正化計画を策定
 - ⑥北広島団地イメージアップ事業：北広島団地に若い世代を呼び込み、多世代が暮らす地区形成を図るためのイメージ戦略を推進
 - 「公共交通」
 - ⑦公共交通網形成計画策定事業：将来を見据えた持続性のある公共交通網の形成に向けた計画の策定
 - ⑧生活バス路線利用促進事業：生活バス路線の維持・確保を目的に、利用者の増加に向けた取組みの推進
 - 「教育」
 - ⑨小中一貫教育推進事業：小中9年間で「連続した学び」を保障する小中一貫教育を全市で推進

※「空き家流動化促進事業」は平成30年度から「リユース住宅活用サポート事業」含む、「子育て世代マイホーム購入サポート事業」は平成30年1月まで「ファーストマイホーム支援事業」、
「公共交通網形成計画策定事業」は平成30年6月から「公共交通網形成計画推進事業」